

5分で分かる

流通・販売事業者向け

有機農産物

って何？

農林水産省

「値段は高いの？」「売れているの？」など

そんな素朴な疑問にお答えします！



流通・販売事業者の皆様へ

近年、有機農産物への関心が高まるにつれて、消費者の方からも

「そもそも有機農産物って何？」



という質問をいただくことが増えています。

このパンフレットでは、主に、流通・販売事業者の方向けに、有機農産物について聞かれがちな項目を、“5分で分かる”という観点でまとめたものです。今後の有機農産物の取扱いの参考としていただければ幸いです。

目次

- Q1. そもそも有機農産物とは？ P. 2
- Q2. 有機農業とは？何がいの？ P. 3
- Q3. どんな商品があるの？ P. 4
- Q4. 実際に売れているの？ P. 5
- Q5. 値段は高いの？ P. 6
- Q6. どんな消費者が購入しているの？ P. 7
- Q7. 「オーガニック」や「特別栽培」、
「無農薬」とどう違うの？ P. 8
- Q8. 販売にあたって注意することは？ P. 9
- 【参考】国内の有機農業の状況 P.10

Q1. 有機農産物とは？

A1. 有機農業で作られた農産物のことです。

このうち、**有機JASマーク**が付されたものだけが、「有機」や「オーガニック」と表示して販売することが可能です。

「有機農業」については、Q2で解説！



参考

・「有機JASマーク」について



「有機JASマーク」とは、有機JASに適合した生産が行われていることを登録認証機関によって検査及び認証された事業者のみが貼ることのできるマークです。

有機JASの商品例は Q3 (P.4) へ！

・有機農産物は他の農産物と品質が変わるの？

有機JASは、栽培のルールを定めたものであり、出来上がった農産物の品質に関する基準ではありません。農産物の味などは、栽培の方法や農地の条件等の影響を大きく受けます。



有機JASに関する詳しい情報は [こちらから](#) ▶

農林水産省HP「有機食品の検査認証制度」
https://www.maff.go.jp/j/jas/jas_kikaku/yuuki.html






Q2. 有機農業とは？何がいいの？

A2. 有機農業とは、化学肥料・農薬を原則使わず、可能な限り環境に配慮した栽培法であり、土壌環境や生物の多様性など農業生態系を守ることに繋がります。

参考

・ 有機農業の定義

- ・ 化学的に合成された肥料及び農薬を原則使用しない 
- ・ 遺伝子組換え技術の利用等を行わない 
- ・ 農業生産に由来する環境への負荷をできるだけ低減する 

・ 生物多様性の保全と肥料原料の輸入依存

有機農業を行っている水田は、慣行栽培※の水田と比較して、生物の多様性に富んでいるという研究データがあり、有機農業は生物多様性の保全に有効であると考えられています。

※慣行栽培：生産過程において農薬や化学肥料を使用する従来型の栽培のこと

生物郡	栽培方法間の比較
レッドリスト植物	慣行<農薬節減<有機
アシナガグモ属	慣行<農薬節減・有機
アカネ属	慣行<有機
トノサマガエル属	慣行・農薬節減<有機
水鳥	有機栽培の水田が多い地域ほど多い

栽培方法の違いによる個体数の比較

出典：令和元年8月28日(国)農研機構プレスリリース「(研究成果) 有機・農薬節減栽培と生物多様性の関係を解明」

また、日本は化学肥料原料のほとんどを輸入しており、国際情勢に左右されにくい安定した食料供給実現のためにも、有機農業の推進を含め、化学肥料の使用低減を進めていく必要があります。

Q3. どんな商品があるの？

A3. 有機JASには、有機農産物・有機加工食品・有機畜産物・有機藻類等の規格があり、野菜、米、果実だけでなく、様々な有機食品があります。



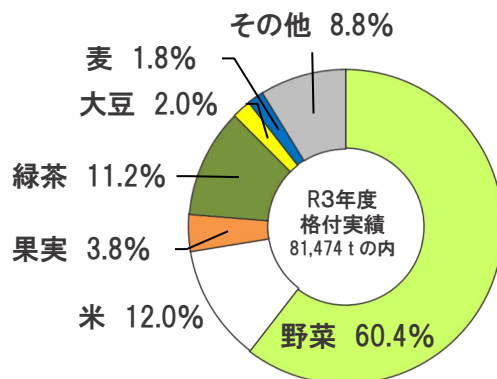
参考

・ 国内における区分別格付実績

有機JAS国内で生産される有機農産物では、野菜、米、緑茶が多く、国内における格付実績※全体の約9割を占めます。

※ 生産された農産物が、有機JAS規格に適った方法で生産されたことを、事業者が自ら確認（格付検査）することを「格付」といいます。

有機農産物の区分別格付実績(R3年度)



※農林水産省HP「有機農産物等の格付実績」をもとに農林水産省農業環境対策課作成

Q4. 実際に売れているの？

A4. 国内の有機食品市場は2,240億円と推計されており、拡大傾向にあります。

推計年度	2009年	2017年	2022年
日本全国の 有機食品市場規模の 推計値(円)	1,300億円	1,850億円	2,240億円

13年間で1.7倍に拡大！

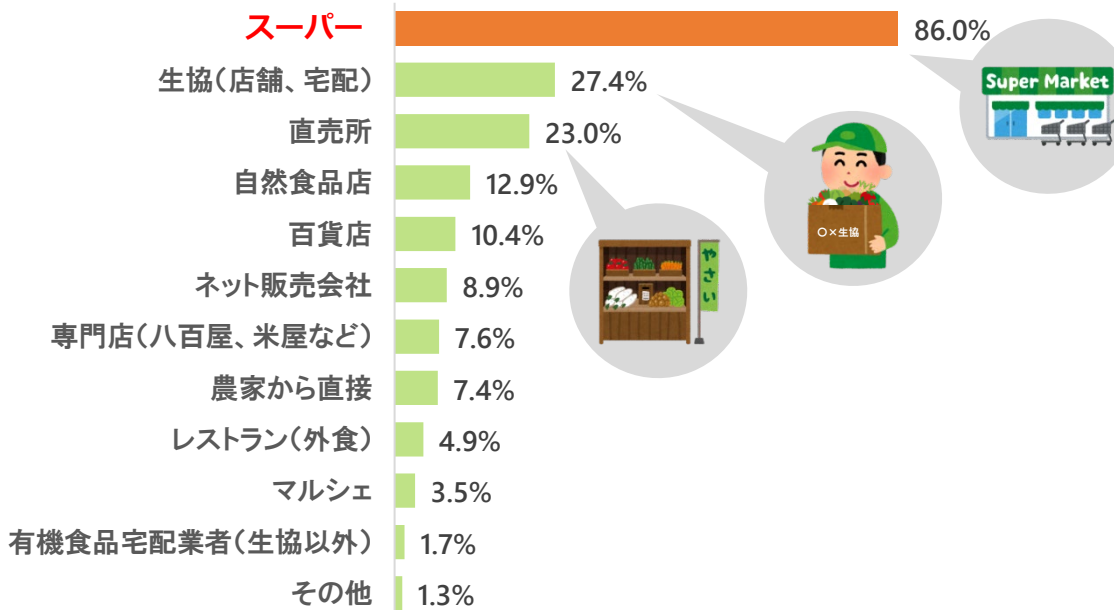
参考

・ 有機食品の購入先

消費者が有機農産物を購入する場所として、スーパーで購入すると回答した消費者は86%であり、消費者が有機農産物を購入する場所として最も選択されていることがわかります。



有機食品の購入先(複数回答可)



出典：農林水産省農業環境対策課「有機食品の市場規模及び有機農業取組面積の推計手法検討プロジェクト」（令和4年11月）

Q5. 値段は高いの？

A5. 有機農産物は、慣行栽培品に比べて除草の手間がかかること、また収量が減少することなどから慣行栽培品よりもやや高い価格帯で取引される傾向にあります。

参考

・ 有機栽培品と国産標準品の販売価格比較

	品目	国産標準品 (円/kg)	有機栽培品 (円/kg)	比率(%)
根菜類	だいこん	204	315	155
	にんじん	394	685	174
	ばれいしょ	385	568	147
葉茎菜類	キャベツ	178	291	163
	ねぎ	669	960	143
	たまねぎ	296	536	181
果菜類	トマト	697	1,078	155
	ピーマン	959	1,793	187

過去の調査では、有機農産物は慣行品よりも50～90%ほど高い価格で取引されていることがわかっています。

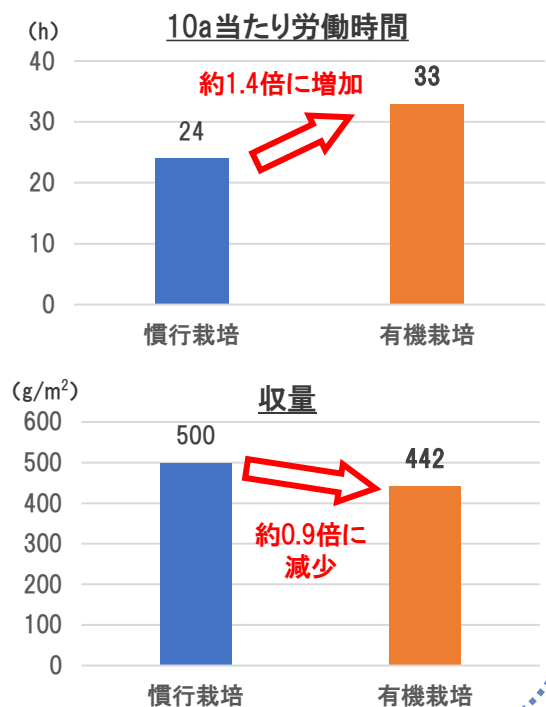
出典：農林水産省大臣官房統計部「平成28年生鮮野菜価格動向調査報告」（平成29年3月）

・ 有機栽培米と慣行栽培米における労働時間、収量の比較

有機栽培は、化学的に合成された除草剤を使わずに雑草の除草を行うため、慣行栽培に比べて労働時間が長くなる傾向にあります。

また、有機栽培では慣行栽培に比べて収量が減少するというデータもあります。

出典：農研機構「高能率水田用除草機を活用した水稲有機栽培の手引き」（2020年3月）を基に農林水産省農業環境対策課作成



Q6. どんな消費者が購入しているの？

A6. 有機食品を月に1回以上購入する消費者は、30～39歳が多いほか、60歳以上でも多くなっています。

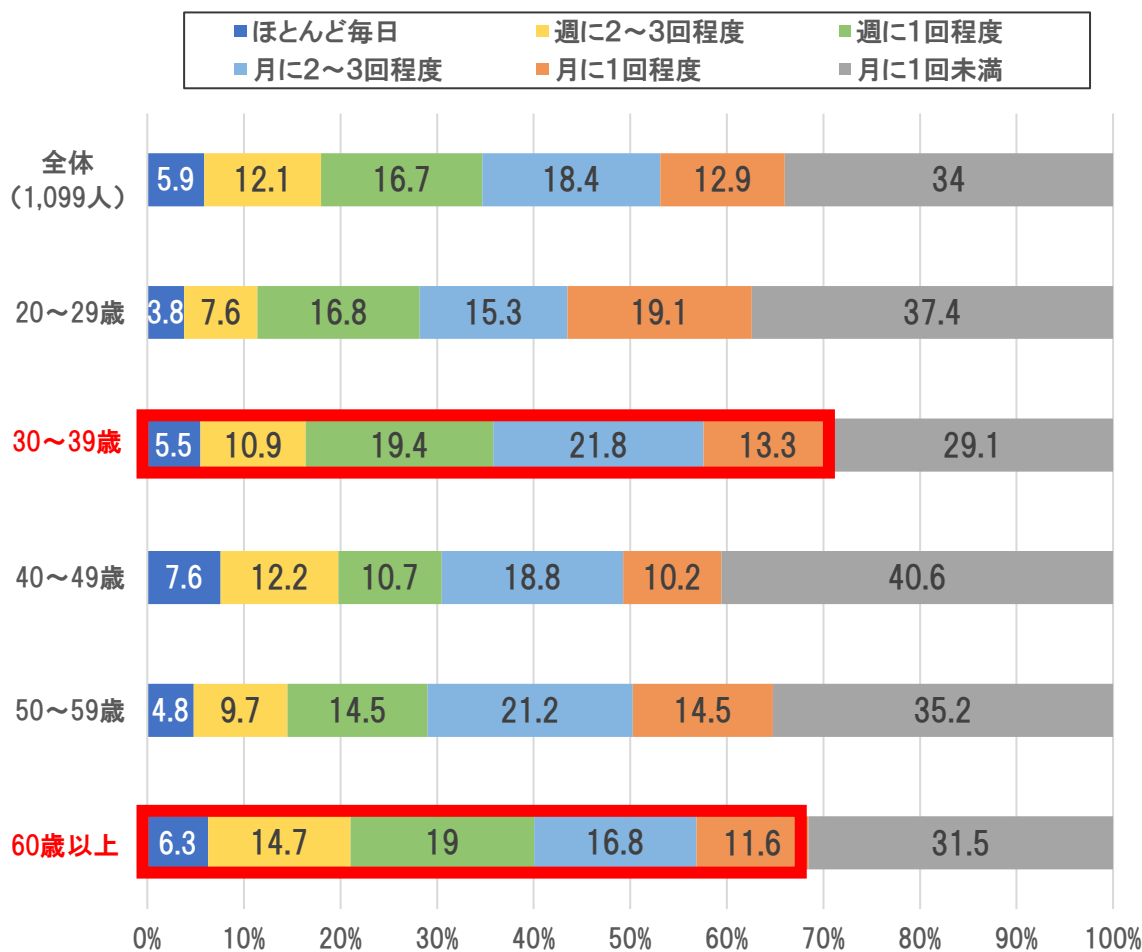
参考

・ 有機食品の飲食頻度

小さい子供がいる世代や定年退職後に、食への関心が高まり、有機食品を購入する傾向が強いとされています。



年齢階層別の有機食品の飲食頻度




出典：農林水産省大臣官房統計部「令和元年度 食料・農林水産業・農山漁村に関する意向調査有機食品等の消費状況に関する意向調査」

Q7. 「オーガニック」や「特別栽培」、 「無農薬栽培」とどう違うの？

A7.

- ・ 「オーガニック」は「有機」と同じです。
- ・ 「特別栽培農産物」は農薬の使用回数と、化学肥料の窒素分量を地域の慣行レベルの50%以下で生産したものです。

表示して販売するには
「有機JAS」
マークが必須です！

【注意：無農薬栽培について】

- ・ 農薬を使わずに栽培していても、土壌に農薬が残っていたり、他の畑から飛散していたりすることもあり、「無農薬栽培」という表記は優良誤認を招きかねません。
- ・ 国のガイドラインでは「農薬：栽培期間中不使用」等の表示をすることとされています。

参考

・ 特別栽培農産物について

特別栽培農産物についてより詳しくご覧になりたい方は下記のパンフレット、HPをご覧ください。



◁ 農林水産省作成パンフレット 「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」

農林水産省HP「特別栽培農産物に係る表示ガイドラインパンフレット」
https://www.maff.go.jp/j/jas/jas_kikaku/attach/pdf/tokusai_a-2.pdf

『特別栽培農産物に係る表示ガイドライン』の適用の対象や、特別栽培農産物の表示例など、わかりやすく記載されています。

特別栽培農産物に関する詳しい情報はこちらから ▶

農林水産省HP「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」
https://www.maff.go.jp/j/jas/jas_kikaku/tokusai_a.html



Q8. 販売にあたって注意することは？

A8.

- ・ バラで販売する場合は、有機農産物コーナーを設けるなど、**慣行農産物と混合しない工夫が必要です。**
- ・ 有機農産物を小分けして、**容器や包装上に「有機」等を表示する場合、認証小分け事業者の有機JAS認証が必要です。**

参考

【ポイント：認証小分け事業者となることが必要でない場合もあります！】

段ボール箱で納品された有機農産物を
バックヤード等で小分けする場合、



その他の農産物との混合を
防止する措置が取られていれば



小分け



認証小分け業者でなくても、ポップなどに「有機」等と表示して販売することができます。

ただし容器や包装上に「有機」等の表示は行えません。

OK



NG



この際、元の段ボール箱から有機JASマークを切り取るなどして、
当該有機農産物の近くに「有機JASマーク」を掲示してください。

慣行農産物と有機農産物を
同じトラックで運ぶこと(混載)は可能です！



有機JASの
Q&Aはこちら

慣行農産物との混合や使用禁止資材による汚染を避けるように配慮
をすれば慣行品と有機農産物を同じトラックで運ぶことは可能です。

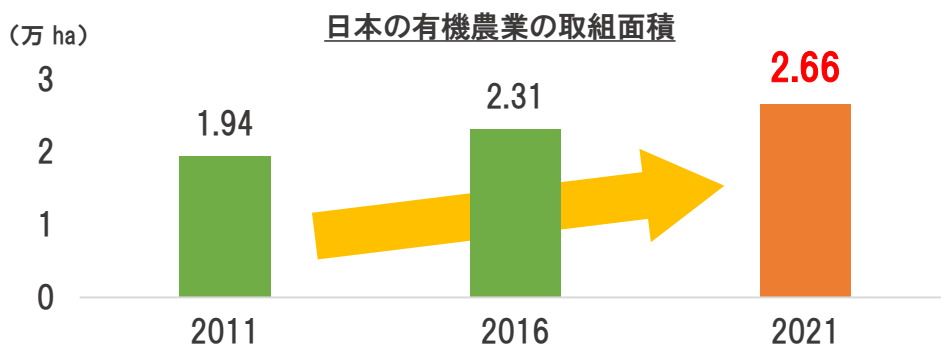
農林水産省HP「有機農産物、有機加工食品、有機畜産物及び有機飼料の
JASのQ&A」
https://www.maff.go.jp/j/jas/jas_kikaku/attach/pdf/yuuki-374.pdf



【参考】国内の有機農業の状況

日本の有機農業の取組面積

日本の有機農業の取組面積は過去10年で約4割拡大しています。



国産有機サポーターズ

国産有機サポーターズは、国産の有機食品の需要喚起に向け、農林水産省が事業者の皆様と連携して取り組んでいくために立ち上げられたプラットフォームです。国産有機サポーターズには、現在、**104社**（令和5年12月現在）にご協力・ご参画いただいています。

農水省は、国産有機食品の需要喚起に向けて

- ・ 農水省HP内の専用ページで各社の取組・メッセージを紹介するなどサポーターズの取組の周知
- ・ サポーター間での交流促進に向けた取組やイベントの実施
- ・ 各社の販売促進活動にロゴマークを使用したPRの実施
- ・ サポーターズへの有機農業関連情報の提供



等の取組を実施しており、行政や関連事業者との連携の機会の増加に繋がります。

また、補助事業でサポーターズと連携した情報発信を支援しており、消費者への情報提供の機会の増加に繋がります。是非、国産有機サポーターズへご登録ください！

詳しい情報は
こちらから



農林水産省HP「[国産有機サポーターズ]」
https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyoyuuki/supporters/suppoters_top.html



発行／農林水産省 農産局 農産政策部 農業環境対策課

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

TEL 03(3502)8111(代)

ホームページURL <http://www.maff.go.jp>(農林水産省HP)

令和5年12月作成